

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	第2回朝霞第十小学校 学校運営協議会	
開催日時	令和8年6月26日（金） 午前10時50分から午前11時50分まで	
開催場所	朝霞市大字溝沼828番地の1 朝霞第十小学校 2階 会議室	
出席者の職・氏名	渡邊 美知子（学校運営協議会 会長・学校薬剤師） 矢田 敦子（学校運営協議会副会長・朝霞市こども相談室相談員、元朝霞第十小学校長） 榎本 明美（民生委員・児童委員） 本橋 輝男（溝沼地区町内会長） 生方 恵美（十小子どものための会副会長） 小島 真知子（青少年育成市民会議副委員長） 荒川 教子（学校応援団コーディネーター） 原 賢治（朝霞ぐらんぱの会代表理事、民生委員・児童委員） 金子 和人（青少年育成市民会議理事） 宮腰 高子（朝霞第十小学校長）	
欠席者の職・氏名	なし	
議題	1学期の教育活動について	
会議資料	学校だより、夏休み「6つのやくそく」SSR	
会議録の作成方針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☒ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☐ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☐ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 会長による確認	
傍聴者の数	1人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）		
1	開会	学校運営協議会副会長 （開始午前10時50分）
2	あいさつ及び自己紹介	・会長あいさつ（渡邊 美知子 会長） ・校長あいさつ（宮腰 高子 校長）
3	資料・日程確認	朝霞第十小学校 教頭
4	今後の教育活動について	※SSR提案資料参照
5	意見交換	【SSRについて】 委員：SSRは、予算がついていない。市内では、特定の学校のみである。当初は、対象校を増やしていく予定であったが、うまく予算取りができておらず、学校の努力で取り組んでいる現状がある。 委員：物理的にじゅうたんをどう準備するか等課題がある。居場所として整えるなら、ゴロゴロできる場所があってもいいし、リラックスと学習を並行して整えるなら、分けて整えてもよい。十小として、どういう子を対象とするかで変わってくる。 委員：他校を例にとると、不用品譲渡アプリや子ども相談室の備品等を活用し、備品をそろえているところもある。 委員：人材も学校で探している。人材配置については、相談員の業界を例にすると、関係者が相談員にならないように「2駅離せ」と言われている。一緒に遊ぶなら近くの人でもありかもしれない。 委員：支援の人の特質があるので、一緒にたにしているのも難しい。 委員：十小の不登校は何人くらいか。 校長：一概には言えないが、現在では少数で、その中の特定の数人がSSRの対象になると考えている。 委員：地域によって、対象となる人が異なるのか。 委員：学校は校長に責任がある。SSRと呼び名は一緒だけど、中身は学校によって異なっている。 校長：教室を飛び出す児童を対象としている学校もあり、実態に合わせて整備している。 委員：各校の取組について、教育委員会が情報共有の時間をとったりしていないのか。 委員：連絡会ができるとうい。しかし、一番の問題は、専任の担当者がいない、もしくはははっきりしないこと。 委員：SSRには、サポーターとして2年間関わっている。学校には完全に登校できない子がいる。誰を対象にするかが問題となる。登校したり、授業を受けたりできるようになるとよいと思って関わっている。関わりの中で登校できるようになった子もいるが、遊びだけしていると捉える人もいる。校長、教頭、職員等関わる人や立場で考え方がちがう。共通認識を持つことが大切。 委員：保育園には、不登校がない。登園してしまえば、楽しく過ごせる。なぜ、学校だけ苦労しているのか。お互いに遊べる環境ができるとよい。近所の保育園等と連携できるとよいと思う。 委員：面倒を見たい、という子も増えるかもしれない。

委員：具体的に始める日程は。

校長：見る人がいないとできないので、隔週等周知して、大丈夫なら始めていく。本校は通級がある。そこは話をしたりゲーム活動をしたりして過ごしている。学習だけでなく、そういったことからでいいと考えている。

委員：他校の例だと、始めは学習でないところからスタートした。校長がギターを教えたりしていた。そこから始めるんだと思った。役割を確認していかないとともやもやが残る可能性がある。SSRはあってよいが、SSRのサポーターを探すことが大変。朝霞市が予算をつけてくれればいいのだが。

6 閉会 午前11時50分